

東洋文明の再創造に関する概略（3 人称）

2022年5月9日 月曜日

以下の文章は3人称形式である。以下では、彼（教祖）は東洋文明の再創造に関する概略を提示する。

西洋文明の衰退

現在、西洋文明は衰退している。第二次世界大戦の後、欧州は衰退して、没落した。その後、米国はソビエト連邦との冷戦に勝利して、超大国になった。しかし、21世紀以降、中国や日本国、韓国やインド、その他の地域の台頭は米国を衰退させた。

さらに、米国は非自然民に関する深刻な問題を抱えている。彼の予想では、米国は深刻な内戦に突入するだろう。そして、この内戦は南北戦争でなく、ローマ帝国の崩壊のように、西洋文明の崩壊を決定づけるだろう。

上記の背景と未来予想から、彼は東洋文明の再興の機会が巡ってきたと感じる。だから、彼は日本国及び大和民族、韓国及びキリスト教徒出ない朝鮮民族、そしてその他のモンゴロイド人種を西洋文明から完全に離脱させて、東洋文明に回帰させるべきであると結論づけた。そのためには、彼は東洋文明を再興させることが必要であるだろうと予想する。

アメリカ大陸をモンゴロイド人種に

彼はアメリカ大陸をモンゴロイド人種のために取り戻す。アメリカ大陸の多様性はモンゴロイド人種の虐殺と絶滅の結果である。アメリカ先住民は彼らの自然な土地で、統治者にすらなれていない。彼らは西アリア人によって不可触民にされている。彼はその状態を白人帝国の主義の継続と認識する。彼はその状態を解除して、アメリカ大陸をアメリカ先住民やモンゴロイド人種に再度明け渡す。大日本帝国がアジア及びアフリカに対する奴隷地の解放に間接的に関係したように、彼はアメリカ大陸の奴隷地の解放を実行して、アメリカ先住民及びモンゴロイド人種を救いだす。

そのためには、彼は自己の文明システムを再び創造する必要がある。アメリカ合衆国は世界最強の軍事力と経済力を持っている。さらに、彼らは独自の国家システムと統治システム、民主制度を持っている。彼はアメリカ大陸を力づくで強引に取り戻すことはできない。だから、彼はアメリカ大陸をモンゴロイド人種のために取り戻すことができるようなシステムを理論的に創造する。そのシステムの一つが東洋文明である。

ローマは世界最強であったかもしれない。しかし、そのローマですらキリスト教に敗北した。彼はこの再現を実行するつもりである。キリスト教に対応するのが東洋文明である。国民国家と民

主制とキリスト教系統の憲法が欧州人が彼らの国家をアメリカ大陸に形成する正当性を与えている。だから、彼は国民国家と民主制度とキリスト教系統の憲法に関するシステムを理論的に破壊する。彼は欧州人が軍事力や経済力でどうしようもない方法で攻める。

自己及びその所属への渴望

彼は自己を渴望する。彼は自己の文明と自己の宗教と自己の社会を渴望する。現在、彼は国民国家とキリスト教系統の憲法、そして民主制という統治制度を強制されてきた。明治維新の後、これらの制度は彼に強制された。しかし、彼はこれらを彼自身と認識しない。だから、彼は東洋文明系統の国家システムとその統治システム、そして**新儒教（ネオ儒教、または礼教）**を創造して、彼はそれらのシステムを採用する。

彼がキリスト教系統の憲法で死刑に処されることは刑罰でなく、単なる殺害行為である。それはユダヤ教徒のイスラエル国民が仏教系統の憲法で死刑に処されることに等しい。この時、誰もユダヤ教徒のイスラエル国民はその刑罰を刑罰と認識しないだろう。同様に、彼が国民国家及び民主政という統治システムの中で生きることはアメリカ先住民が不可触民な状態を欧州人の数の暴力で許すことである。

また、彼はキリスト教及びユダヤ教系統の性規範「LGBT」や罪の概念やキリスト教系統の善悪を強制されてきた。彼は殺人行為を罪でなく、非礼と認識する。現状、彼は殺人行為をキリスト教系統の概念「罪」で罰される可能性がある状態に置かれている。